

まちづくり交付金 事後評価シート  
大府中部地区

平成21年12月

愛知県大府市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	大府市		地区名	大府中部地区			面積	800ha		
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	4,628.40百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業												
	基幹事業 道路:(都)明成深廻間線、道路:市道上原殿田線、高質空間形成施設:共和人道橋、土地区画整理事業:大府共和西、公営住宅等整備:市営池之分住宅、公営住宅等整備:市営富士見住宅、公営住宅等整備:市営殿ノ前住宅、 提案事業 地域創造支援事業:エレベーター設置、地域創造支援事業:児童老人福祉センター移設、地域創造支援事業:小学校校舎増築、地域創造支援事業:保育園改築、まちづくり活動推進事業:福祉健康フェア、まちづくり活動推進事業:健康日本21大府市計画推進事業												
	事業名												
	削除/追加の理由												
削除/追加による目標、指標、数値目標への影響													
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	①道路:市道明成深廻間線 ②公園:一ツ屋1号、4号公園 ③公園:一ツ屋2号公園 ④公園:共和西1号公園 ⑤地域生活基盤施設:共和広場 ⑥高質空間形成施設:共和駅 ⑦高質空間形成施設:江端公園ほか11箇所			①近隣道路の渋滞緩和のため事業追加 ②～④快適なまちづくりを推進するため事業追加 ⑤高質空間形成施設:共和駅の事業効果の観点から事業項目を適正化したところ、共和駅、共和広場、共和人道橋に細分化したことによる事業追加 ⑥交通基盤強化による事業追加 ⑦快適なまちづくりを推進するため事業追加			①影響あり 指標2 安全アクセスエリアの拡大 ②影響なし ③影響なし ④影響なし ⑤影響あり 指標5 共和駅満足度の追加 ⑥影響あり 指標5 共和駅満足度の追加 ⑦影響なし				
	交付期間の変更	当初変更				交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
	事業名												
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期		
	指標1	居住者数	人	36,246	H16	40,000	H21	39,300(H18)	41,152	○	あり	土地区画整理事業(大府共和西および関連事業の大府深廻間、大府一ツ屋地区)の進捗により着実な居住者数の増加が実現した。	H22.12
	指標2	安全アクセスエリア	%	74	H16	94	H21	81(H18)	94.6	○	あり	道路事業における道路拡張や「ウォーキングトレイル事業」における歩道整備によって、安全アクセスエリアが拡大した。	H22.4
	指標3	教育、文化、スポーツ施設利用満足度	%	満足、まあ満足(25%)	H16	満足、まあ満足(30%)	H21	23(H18)	23.6	△	あり	地域創造支援事業(エレベーター設置、児童老人福祉センター移設、小学校校舎増築、保育園改築(若宮保育園、共和東保育園)、耐震改修バリアフリー整備、地域交流センター)により、対象施設の利便性が向上し、利用者数は増加した。施設利用満足度は目標値に達することができなかったが、近年の減少傾向より改善していると考えられた。1年以内の達成も難しい。	H22.9
	指標4	健康診査受診率	%	60.1	H15	67	H21	62.7(H18)	-	×	あり	指標4(40歳以上)健康診査受診率は、H20.4に健康診査制度が変わり、受診者の定義が変更されたため、従前値と同じ手法で計測することができなくなったが、イベント開催等により健康に対する意識が高まり、効果は見られた。したがって、従前と同じ手法で計測できる「75歳以上健康診査受診率」をその他指標2としてを設定する。	-
指標5	共和駅利用満足度	%	満足、まあ満足(3%)	H18	満足、まあ満足(50%)	H21	-	46.0	△	あり	共和駅および駅周辺の整備やイベントの実施により、地域住民の共和駅に対する意識が高まった。	H22.12	
4) 定性的な効果発現状況	その他の数値指標1	教育、文化、スポーツ施設利用者数	人	600,688	H16			647,065			対象施設(大府公民館(エレベーター設置)、児童老人福祉センター移設、小学校校舎、保育園(若宮保育園、共和東保育園)、耐震改修バリアフリー整備、地域交流センター)の利便性が向上し、利用者数は増加した。	H22.9	
	その他の数値指標2	75歳以上健康診査受診率	%	25.0	H15			28.7			福祉健康フェアや健康日本21大府市計画推進事業などイベント開催により健康に対する意識を高め、健康診査受診率が向上した。また、公園整備やウォーキングトレイルの整備により住民に体を動かす場所が増加し、健康に対する意識が高まった。	H22.4	
本地区では、「健康都市空間の整備を図り、快適なまちづくり」に基づき、以下のことを達成した。 ・公園整備に向けたワークショップ、保育園新築のワークショップ、アダプトプログラムを通じて地域コミュニティの形成をはかることができた。 ・福祉健康フェアや健康日本21大府市計画推進事業の実施により、健康増進推進活動が進んだ。 ・第4次大府市総合計画が目指す「躍動・ふれあい・健康都市」を実現に向けて着実に成果を上げていることを意味する。													
5) 実施過程の評価	実施状況												
	今後の対応方針等												
	モニタリング	大府市統計書等によるモニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた			●			モニタリング同様に毎年度の本市統計書により確認する。		
	住民参加プロセス	共和駅周辺まちづくり委員会			都市再生整備計画に記載し、実施できた			●			今後も同様の方法で継続していきたい。		
持続的なまちづくり体制の構築	一ツ屋1号・4号公園、一ツ屋2号公園、共和西1号公園ワークショップ			都市再生整備計画に記載し、実施できた			●			今後も同様の方法で計画を立てていきたい。			
	共和東保育園ワークショップ			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●			参加者の増加や維持・継続に注力する。			

# 様式2-2 地区の概要

大府中部地区(愛知県大府市) まちづくり交付金の成果概要						
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値	
	健康都市空間の整備を図り、快適なまちづくりを推進します。	居住者数	単位:人	36,246	H16	40,000
目標1:良好な住環境形成による人口定着を目指します。	安全アクセスエリア	単位:%	74	H16	94	H21
目標2:市民のさまざまな交流活動や生活移動を支える交通基盤を強化します。	教育、文化、スポーツ施設利用満足度	単位:%	満足、まあ満足(25%)	H16	満足、まあ満足(30%)	H21
目標3:教育、文化、スポーツ施設の活用や健康推進事業により、市民の交流の場づくりや健康増進活動を進めます。	健康診査受診率	単位:%	60.1	H15	67	H21
	共和駅利用満足度	単位:%	満足、まあ満足(3%)	H18	満足、まあ満足(50%)	H21

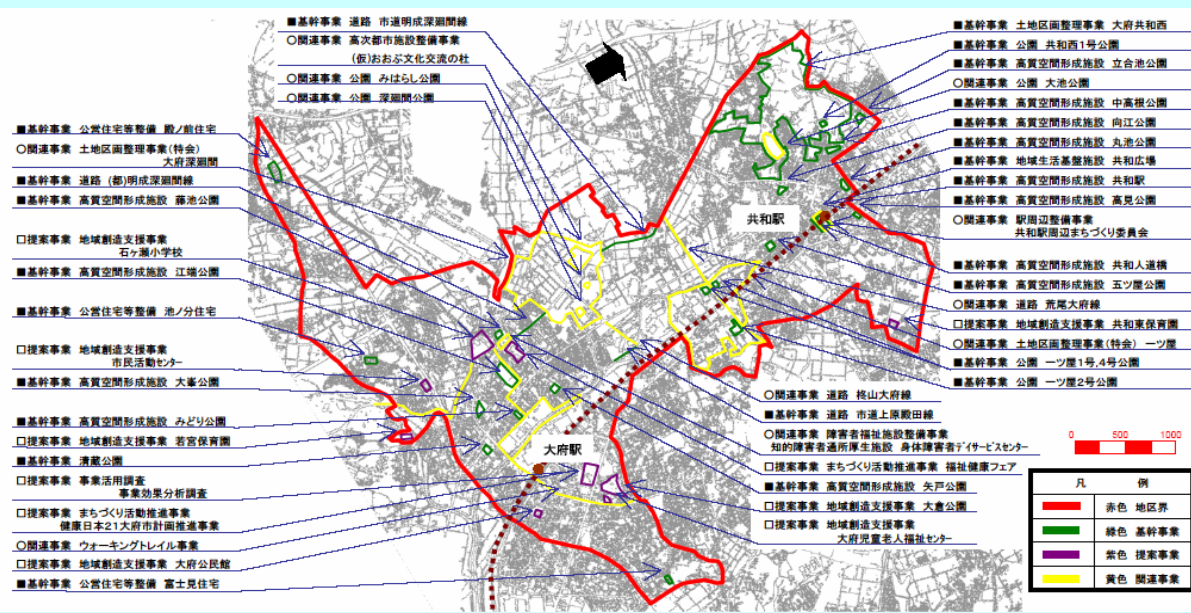
## 良好な住環境形成のための都市基盤整備に関わる事業

- 公園:一ツ屋1号、4号公園
- 公園:一ツ屋2号公園
- 公園:共和西1号公園
- 高質空間形成施設:江端公園ほか11箇所
- 土地画整理事業:大府共和西
- 公営住宅等整備:市営池之分住宅
- 公営住宅等整備:市営富士見住宅
- 公営住宅等整備:市営殿ノ前住宅
- 地域創造支援事業:小学校校舎増築
- 地域創造支援事業:保育園改築(共和東保育園)
- 地域創造支援事業:耐震改修バリアフリー整備
- 障害者福祉施設整備事業
- 土地画整理事業(特会):大府深廻間
- 土地画整理事業(特会):大府一ツ屋
- 公園:大池公園
- 公園:深廻間公園
- 公園:みはらし公園



地域創造支援事業:保育園改築(若宮保育園)

## 大府中部地区の対象範囲 (A=800ha)



## 市民の健康増進活動や交流活動の推進する事業

- 地域創造支援事業:エレベーター設置
- 事業活用調査:事業効果分析調査
- まちづくり活動推進事業:福祉健康フェア
- まちづくり活動推進事業:健康日本21大府市計画推進事業
- 多目的グラウンド整備事業
- ウォーキングトレイル事業



地域創造支援事業:児童老人福祉センター移設



地域創造支援事業:地域交流センター

## 交通網の利便性の向上、安全な歩行空間の形成に関わる事業

- 道路:(都)明成深廻間線
- 道路:市道上原殿田線
- 道路:市道明成深廻間線
- 高質空間形成施設:共和広場
- 高質空間形成施設:共和駅
- 駅周辺整備事業
- 道路:荒尾大府線
- 道路:終山大府線



高質空間形成施設:共和人道橋

**まちの課題の変化**

- ・土地画整理事業や公営住宅等整備事業の実施により、生活基盤施設が充実され、地域住民の住環境が向上した。それにより、予想を上回る人口定着が図れた。
- ・大府共和西土地画整理事業が順調に進んでいるが、未整備区域もある。今後も人口増加傾向を維持し、歩いて暮らせるまちづくりを推進するため整備を図る必要がある。
- ・新旧居住者間の新たな地域コミュニティの形成が必要である。
- ・居住者増加に対応するため、交通の利便性の向上が必要である。
- ・道路事業やウォーキングトレイル事業により、安全アクセスエリアが向上し安全で快適な道路の整備を図れた。
- ・市道上原殿田線・市道明成深廻間線は、歩道の整備を図り安全アクセスエリアが向上したが、便利が実感できる道路ネットワークの形成が必要である。
- ・健康診査について、イベントなどの啓発活動により受診率が向上した。
- ・対象範囲にある教育、文化、スポーツ施設利用者数は増加している。
- ・教育、文化、スポーツ施設利用者の満足度が向上しておらず、施設の利便性向上が必要である。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- 安全・便利が実感できるまちづくり
- 土地画整理事業による基盤整備と住環境の向上のための各種事業を継続して実施する。
- 歩いて暮らせるまちづくり
- 今後も戦略的に人口増加を図る区域であるため、地区の特色を活かしたまちづくりを検討し、次世代に誇ることのできるコンパクトで持続可能なまちづくりを推進する。
- 健康増進に文化を付加した魅力あるまちづくり
- 高齢者の生きがいづくりや子育てしやすい環境づくり、文化・芸術活動を通して、精神的な豊かさを希求する「こころの健康都市」を実現するため、世代間を超えた多様な交流の場を提供する。
- ふれあいを大切にした活動のあるまちづくり
- 福祉教育総合施設整備や既存施設のバリアフリー化により、子どもから高齢者、障がい者や子育て世代など地域に住むすべての人々が、いつまでも生きがいを持って暮らせる環境づくりを図る。